



永谷茶門生家(宇治田原町)



山なり茶園(新田町 石寺)

■タイトル 日本茶800年の歴史散歩

■所在自治体 京都府(宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村)

■ストーリーの概要

お茶が中国から日本に伝えられて以降、京都・山城は、お茶の生産技術を向上させ、茶の湯に使用される「抹茶」、今日広く飲まれている「煎茶」、高級茶として世界的に広く知られる「玉露」を生み出した。この地域は、約800年間にわたり最高級の多種多様なお茶を作り続け、日本の特徴的文化である茶道など、我が国の喫茶文化の展開を生産、製茶面からリードし、発展をとげてきた歴史と、その発展段階毎の景観を残しつつ今に伝える独特で美しい茶畑、茶問屋、茶まつりなどの代表例が優良な状態で残っている唯一の場所である。

■主な構成文化財

【国】宇治上神社(宇治市)

【国】海住山寺(木津川市)

◆ 流れ橋と兩岸上津屋・浜台の「浜茶」(八幡市・久御山町・城陽市)

◆ 豊仙房・高尾・田山・今山の茶畑(南山城村)

■問い合わせ先

お茶の京都DMO(一般社団法人京都山城地域振興社)

京都府宇治市宇治乙方7-8京阪宇治ビル2F

TEL:0774-25-3239 FAX:0774-25-3238

E-mail: dmo@ochanokyoto.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル 葡萄畑が織りなす風景-山梨県峡東地域-

■所在自治体 山梨県(山梨市、笛吹市、甲州市)

■ストーリーの概要

甲府盆地の東部は平地から傾斜地まで葡萄畑が広がり、初夏には深碧の絨毯、秋には紅葉の濃淡が日に映え、季節ごとに様々な風景を魅せてくれます。奈良時代から始まったと伝えられる葡萄栽培は、先人たちの知恵と工夫により、かつて水田や桑畑だった土地を一面の葡萄畑に変え、またその葡萄畑に育まれたワインは日常のお酒として地域に根付きました。今も歴史を語る技術や建物は受け継がれ、葡萄畑の風景の中に溶け込んでいます。

■主な構成文化財

- ◆ 葡萄畑
- ◆ 甲州式棚栽培
- ◆ 歴史的ワイナリー
- ◆ 甲州ワイン
- ◆ 葡萄酒

■問い合わせ先

峡東地域ワインリゾート推進協議会(山梨県観光部観光資源課)

甲府市丸の内1丁目6番1号

TEL:055-223-1573 FAX:055-223-1558

E-mail: kankou-sgn@pref.yamanashi.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



紅葉の葡萄畑



ブドウ棚と養蚕農家の特徴を持つ和風建築ワイナリー

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル
木曾路はすべて山の中 ～山を守り山に生きる～

■所在自治体 南木曾町・大桑村・上松町・木曾町・木祖村・王滝村・塩尻市

■ストーリーの概要

戦国時代が終わり新たな町づくりがすすめられると、城郭・社寺建築の木材需要の急増は全国的な森林乱伐をもたらした。森林資源が地域の経済を支えていた木曾谷も江戸時代初期に森林資源の枯渇という危機に陥る。所管する尾張藩は、禁伐を主体とする森林保護政策に乗り出し、木曾谷の人々は、新たな地場産業にこれらの活路を見出した。そして、江戸時代後期、木曾漆器などの特産品は、折しも街道整備がすすみ増大した御旗登拝の人々などによって、宿場から木曾路を通り全国に広められた。江戸時代、全国に木曾の名を高めた木曾檜や木曾馬、木曾漆器など伝統工芸品は、今も木曾谷に息づく木曾の代名詞である。

■主な構成文化財

- 赤沢自然休養林
- 手打ちそば
- 阿寺溪谷
- 鳥居峠のトチノキ群

■問い合わせ先

木曾地域文化遺産活性化協議会
長野県木曾郡木曾町日義 4898-37
TEL: 0264-23-1122 FAX: 0264-23-8018
E-mail: kanren@kisoji.com

構成文化財など詳しくはこちら ↓



町の御宿



中山道

【注】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む